

# さい 議会だより



集中豪雨による災害現場（村道川磯線崩落現場）視察の様子（関連記事：9、11ページ）

## 9月定例会

**平成21年度決算を認定** … 2, 3ページ

**佐井歯科診療所の今後は** … 5ページ

**一般質問に3人登壇** … 8~11ページ

シリーズ **むらのこどもたち** … 14, 15ページ

# 総額 42 億円を認定

## 平成 21 年度決算 5 年連続の黒字

平成 22 年第 3 回定例会は、9 月 7 日から 10 日までの 4 日間の会期で行なわれました。村長から財政状況に関する報告 2 件、承認 1 件、決算認定 7 件、補正予算案 5 件、条例案 2 件の計 17 件、議員から陳情の採択に伴う意見書案 3 件が提出され、全会一致で原案どおり決しました。

### 平成 21 年度各会計の決算

会 計		歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	基金繰入額
一 般		3,185,823,115 円	3,100,323,370 円	85,499,745 円	39,501,000 円
特 別 会 計	簡 易 水 道	189,482,586 円	182,782,586 円	6,700,000 円	
	下 水 道	157,715,686 円	157,715,686 円	0 円	
	国 民 健 康 保 険	440,784,319 円	420,246,280 円	20,538,039 円	10,269,039 円
	老 人 保 健	1,045,088 円	696,956 円	348,132 円	
	介 護 保 険	238,979,308 円	236,828,940 円	2,150,368 円	1,075,368 円
	後 期 高 齢 者 医 療	22,797,065 円	22,748,365 円	48,700 円	
合 計		4,236,627,167 円	4,121,342,183 円	115,284,984 円	
平成 20 年度決算		4,192,562,765 円	4,109,907,865 円	82,654,900 円	

### ○一般会計の主な事業

事 業 名	事 業 費
公共施設地上デジタル対策事業	1,164 万円
保育所整備事業	2 億 9,294 万円
患者輸送事業（コミュニティバス）	958 万円
有害鳥獣駆除対策（サル追い払い等）	681 万円
トド被害対策	570 万円
地域水産物供給基盤整備事業（福浦漁港）	2 億円
村道福浦川目線整備事業	2,220 万円
佐井小学校防風ネット補修工事	814 万円



今年 3 月、佐井村保育所が完成しました

# 地域活性化図り 自主財源の確保を

**坂井議員**

平成二十一年度決算は各会計とも黒字決算であった。その要因は何か。

**職員の努力と  
各種交付金による**

**参事・総務課長**

限られた財源を職員が創意工夫して財源充当したこと、また、国の経済対策で将来的負担を軽減するため効果的な交付金、補助金があったことが結果的に黒字決算となった。

**住民サービスの  
維持向上を**

**坂井議員**

黒字決算であったことについては評価したい。その一方で財源不足ということで地区要望に対応できていない等、住民サービスの低下も懸念されている。

**要望見極め  
対応する**

**村長**

少ない職員、また村民のご理解とご協力によって黒

字となった。今後においても限られた財源ではあるが、要望の中の順位も見極めながら対応していきたい。

**自主財源の創出  
図るべき**

**坂井議員**

自主財源を確保するためには村おこし等で活性化を図り、それが経済的な波及効果が自主財源の創出につながっていくことが望ましい姿だと思う。

そのような観点から、新年度予算や総合計画策定に反映させるべきではないか。

**活性化含め考える**

**村長**

地域の活性化も含め自主財源の創出を考えていきたい。

一例として、漁業組合等から冷凍施設(CAS)についての先例地視察の要望もあり、財源等も含め協議していきたい。

## 平成21年度 決算審査報告

# 創意工夫した行財政運営を

代表監査委員 奥本 紀

歳入では、長引く不況や漁業不振の影響などで村税・国保税・奨学金・保育料等の収納において滞納額が増えており、今後においても厳しい状況が予想されます。貴重な自主財源の確保に積極的に取り組み、成果を上げることをお願いします。

歳出では、今後の財政運営も予断を許さない状況に変わりなく、事業の緊急性、重要性を考慮し、限られた予算を構築し効果的に活用するよう望むものであります。

職員数や給与等の減少により、大変厳しい職場環境にあります。職員個々

には知恵を出し創意工夫し、村民の期待に応えるべく行財政運営にあたってください。よろしくお願いいたします。

平成二十一年度決算に関する実質公債費率および将来負担比率とも、早期健全化基準を下回り、平成二十年度を比べても比率が減少していることから、おおむね健全であるといえる結果となりましたが、今後ともより一層の財政健全化に向けた諸般の取り組みをお願いし、決算審査報告とします。



決算審査報告をする奥本代表監査委員

## 各会計補正予算案を可決

## シライン(株)への補助金1955万円

## 補正予算の内容

会 計		補 正 前	補 正 額	予 算 総 額
		2,507,859 千円	34,457 千円	2,542,316 千円
一 般		シライン(株)に対する欠損額補助金		19,552 千円
		地域情報通信基盤整備事業		6,232 千円
		フォーレストパーク修繕費		1,000 千円
		下北医療センター支出金		3,565 千円 など
特 別 会 計	国民健康保険	419,592 千円	▲2,395 千円	417,197 千円
	老人保健	607 千円	347 千円	954 千円
	介護保険	244,513 千円	9,661 千円	254,174 千円
	後期高齢者医療	26,336 千円	▲2,870 千円	23,466 千円

## 9月定例会 陳情書の審査結果

件 名	陳 情 者	審 査 結 果	付 託 委 員 会
備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める陳情	南部農民組合	採 択	産業建設 常任委員会
EPA・FTA推進路線の見直しを求める陳情	南部農民組合	採 択	産業建設 常任委員会
保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書採択に関する陳情書	青森県 保険医協会	採 択	総務文教 常任委員会
小児用肺炎球菌ワクチン接種費用の助成に関する陳情	青森県 保険医協会	採 択	総務文教 常任委員会
子宮頸がん予防HPVワクチン接種費用の助成に関する陳情	青森県 保険医協会	採 択	総務文教 常任委員会

※肺炎球菌・HPVワクチン接種費用の助成に関する陳情の2件については、総務文教常任委員会委員長が、助成に向けて努力するよう村に申し入れをしています。

# 電源立地地域対策交付金（三法交付金）

## 終了後の財政運営は

川岸委員

三法交付金が平成二十三年度で終了するが、これまでソフト面（人件費）でも活用してきたと思うが、年間どのくらい使われてきたのか。

人件費

1億2240万円

参事・総務課長

消防職員、保育所職員、佐井中学校用務員の人件費等に平成二十一年度実績で一億二千二百四十万円充当してきた。

中でも、消防職員の人件費が約九千万円から一億円と大きなウエイトを占めており、交付金終了後は一般財源で補わなければならない。

交付金終了後は

川岸委員

交付金終了後の財政運営は。



訓練し、災害に備える消防職員

他の交付金を

活用予定

村長

すでに計画済みの、平成二十六年までの財政シミュレーションの中にも想定しており、今後中間

貯蔵施設に関わる交付金等を利用しながら、常に緊張感を持って財政運営をしていきたい。

# 佐井歯科診療所の 今後は

単年度で  
解消している

村長

単年度の赤字は単年度で精査し、滞りなく支払いしている。

青信佐井支店への  
移設は

宮川委員

青い森信用金庫佐井支店が撤退後、建物を利用して歯科診療所を移す計画があるようだが。

検討している

村長

歯科診療所長、職員と行政が意見交換しており、経費の節減と患者の利便性

が図られると思うので、来年四月一日開設を検討している。

移設後の

現診療所は

宮川委員

診療所が移設された場合、新診療所の改装費および現診療所の利活用は。

具体的には

決まっていない

村長

診療所側の要望を把握しながら、予算的な部分も精査して進めていきたい。現診療所の利活用については、大間原発工事関係者から話があるが、まだ具体的には決まっていない。



移設が検討されている歯科診療所

# 住民の安心・安全への取り組み 救急医療情報キット導入すべき

川岸委員

地域情報通信基盤整備事業として六百二十三万円計上されている。このことにより全世帯に見守り告知端末システムを設置できることだが、その経緯は、

55歳以上は交付金  
以下は一般財源で

総務課副参事

当初、六十五歳以上の方がいる世帯を想定し入札したが、差額で五十五歳以上の方がいる世帯まで対象とすることができた。その件数は七百七十四世帯である。

残りの五十五歳以下の世帯百十世帯は村の単独事業として一般財源六百二十三万円で実施することとした。

川岸委員

更なる住民の安心・安全

情報キットの

導入が必要

## ○救急医療情報キット

高齢者や障がい者などの安心・安全を確保するため、かかりつけ医や持病などの医療情報などを専用の容器に入れ、冷蔵庫などに保管しておくことで救急時に備える。

万一の際、駆け付けた救急隊員がそれらの医療情報を確認することで、適切で迅速な処置が行えること、また緊急連絡先の把握によりキットにない情報の収集や親族などのいち早い協力が得られる。

新年度から

導入したい

村長

地区の皆さんの意見を聞きながら、新年度から導入したい。

担当課の

取り組み方は

川岸委員

この事業は周りの協力も得なければならぬし、プライバシー等の部分も加味されると思う。担当課としての取り組み方は、

課題整理を行ない

導入進めたい

参事・住民福祉課長

安心・安全を確保する取り組みとして有効な手段だと思っている。消防・医療機関、地区総代、民生委員等の参画を得て、具体的な内容の検討や運営にあたって課題等の整理を行ない、新年度をめどに導入していきたい。

# 青い森信用金庫佐井支店撤退 奨学金利用者への対応は

川畑委員

奨学金の滞納額に関する内容を来年度から決算書に載せてほしい。

来年度から掲載

教育次長

来年度からは決算書に載せたい。

説明や相談などの

対応は

川畑委員

青い森信用金庫佐井支店の撤退に伴い、奨学金利用者への説明や相談などの対応は、

利用者から

希望とる

教育次長

利用者の方へ迷惑がかからないよう、うちよ銀行と検討を重ねており、利用者から希望をとり来年度四月以降から実施したいと考えている。

ブロードバンド事業

十分な説明が必要

工藤委員

見守り告知端末システムを活用するには通報が必要である。二十四時間稼働でき、見守りを十分生かしたシステムになるのか。

1日1回確認

総務課副参事

一日に一回見守りという意味での確認ボタンを押してもらおう。押さなかった世帯については、社会福祉協議会の担当者が確認に向向き見守りするというシステムを現在、佐井村地域ICT利活用推進協議会で協議しているところである。

24時間体制ではないのか

工藤委員

具合が悪くなった時ボタンを押すことにより、役場や消防に通報され駆けつけてくれるシステムではないのか。

今後協議会に図る

総務課副参事

消防と連動したシステムでの協議はこれまでされていないが、今後、協議会に

図っていききたい。

光引き込み工事は情報不足

工藤委員

インターネットのフレックシブル光引き込みに関しては情報不足である。内容を説明していただきたい。

工事費用をポイントで還元

総務課副参事

NTTからは、光引き込み工事費は二千円の費用がかかるが、自社のポイントでかかった費用に見合うポイントを還元することで実質的に無料になるとの説明があった。また、十二月からの運用開始となる。

川目の携帯電話供用開始は

工藤委員

光サービスが十二月運用開始となれば、それに伴い川目地区の携帯電話も来年三月末の供用開始予定が十二月供用開始になるのか。

12月から開始

総務課副参事

川目地区の携帯電話も供

用開始が前倒しになり、十二月から使用できる。

早く情報発信すべき

工藤委員

このような情報は、住民にいち早く情報発信すべきでないか。

速やかに発信する

村長

業者から行政側への連絡も先週のことであり、情報提供の機会が持てなかった。今後は情報を速やかに発信したい。

佐井中学校体育館改修工事調査の結果は

川畑委員

平成二十四年度から計画されている、佐井中学校体育館改修工事に伴う調査内容の結果は。

工事見積額

1億5700万円

教育委員会副参事

調査の結果、屋根、外壁、内部の床、電気機械設備等が交換を要する結果となった。工事費は約一億五千七百万円程度の見積額である。

下がった理由は

川畑委員

当初の見積が約一億八千万円だったが、下がった理由は。

改修の工法を変更

教育委員会副参事

屋根の改修の工法を変えたことにより、見積額が下がった。



腐食の進んでいる佐井中学校体育館



竹内 修議員

シイライン株式会社

# 大幅な負担の増加

## 村長——県補助金と特別交付税から拠出

村負担の2分の1  
は県の補助

**竹内議員**  
シイライン株式会社の欠損金が二〇〇九年に一億三千万円と大きく増額し、これに伴い佐井村の負担も一千九百五十五万二千円と大幅に増額となるが、このような状況に至った経緯は。

**村長**  
離島航路支援は、国、県、市町村の三者による枠組みが原則である。実績欠損額に対し国が一定の補助基準により補助した残りの部分



平成20年11月就航したポーラスター

について関係自治体が独自の要綱に基づき補助することになっていることから、欠損額の七割をむつ市、三割を佐井村が負担することになる。県はむつ市、佐井村が負担する欠損額の二分の一を補助するものとした。

**残り2分の1はどこから拠出**

**竹内議員**

今回の欠損金が大幅に増額した要因の主なもの、新造船の建造に伴うものがある。

村も非常に厳しい財政運営をしている中、残りの五十パーセントの負担はどのように拠出していくのか。

**特別交付税の配分を要望**

**村長**

残りの五十パーセントは村としても特殊事情であることから、国に対して特別

交付税の配分を要望してきており、これまでの交付金額を見れば十分配慮されているものと受け止めている。

**利用者数増への対策は**

**竹内議員**

議会では以前から利用者数を増やすために運賃・発着時間・青森市へ着いてからの利便性など改善策を求めてきたが。

**25%割引を実施**

**村長**

本年七月から十月十五日までの予定で、利用者に対して二十五パーセントの割引をして利用者を増やそうとしているが、すぐ効果が出るものでなくやはり青森市に着いてからの交通アクセスがネックになっている部分だと思っている。いずれにしても何らかの

改善策を講じなければならぬ状況は、会社役員全員が認識しているところである。

**公設民営へ向かうのか**

**竹内議員**

今年度、離島航路改善協議会が立ち上げられ、その会議の中で「公設民営」という案も出てきているようだが。

**受けがたい提案である**

**参事・総務課長**

国は国の財政難の絡みで「公設民営」の方向を求めているわけで、財政の厳しい当村にとっては受けがたい提案であり、今後も断固反対していく考えである。

防災航路に  
認定できるか

**竹内議員**

村長は機会あるごとに、この航路を防災航路と言っているが、防災航路として認定できるのか。

**認定する制度はない**

**村長**

基本的には防災航路と認定する制度はないが、住民に安心感を与えるためにも防災航路に準ずるような形になれば良いと思っ



# 相次ぐ大雨による災害 防災への対応、考えは

## 村長—県、村、住民が連携し対応する

川畑 勲夫 議員

**村長**  
管理者である県からは、今後小規模災害による維持補修工事として発注する予定だと聞いています。

**維持補修工事として発注**

**川畑議員**  
矢越大沢地区の路肩の土砂崩れについても早急に対応できないか。

**大沢地区の土砂崩れは**

**村長**  
今回の冠水については、管理者である県のパトロールにより現場を確認し、撤去等の対応を行なった。常日頃から土砂流出により冠水するようであれば、側溝などの根本的改良を行わなければならない。

**元矢越の側溝の土砂は撤去した**

**川畑議員**  
元矢越地区の側溝が、大雨により詰まり、国道が冠水するという状況が何度も生じているが、村及び県のこれまでの対応、考え方は。

**川畑議員**  
矢越上道地区の沢は平成十九年に崩れ、その後災害復旧されたが、大雨のたび土砂が流れ、下の納屋の外壁に溜まる状態が何度も起

**上道地区の土砂崩れは**

**川畑議員**  
災害査定が十月中旬に行われるのでそれからとなる。土嚢積みについては県民局へ申し入れる。

**10月中旬以降**

**川畑議員**  
公共災害で対処するとなると発注までの程度の期間がかかるのか。路肩への土嚢積みの処置はするのか。

**発注までの期間は**

**産業建設課長**  
下北地域県民局より度重なる大雨で被害が拡大した大沢地区国道路肩の土砂崩れについては、公共災害に位置付けされたとの説明があった。

**村長**  
元矢越側法面保護の老朽化により、下北地域県民局地域整備部で今年度に補修工事を実施する計画である。

**補修工事を**

**川畑議員**  
矢走沢付近の斜面の土砂は、大雨でフェンスの上まで堆積している状態で危険である。標識の設置等の対策としては。

**矢走沢付近の危険箇所への対応は**

**川畑議員**  
再度、早期対応を県に申し入れる。

**早期対応を**

きている。このような状況を早く改善できないか。



矢越地区災害箇所の現場視察

**川畑議員**  
村内には、地滑り、急傾斜、土石流等の危険箇所が五十以上もある。現在ハザードマップ製作中とのことだが、いかに災害を予防するかを重点的に早急に進めるべきと考えるが。

**防災を重点的に考えるべき**

**川畑議員**  
災害が起こる前や起きた時、住民の不満の声は少なからずあると思う。日頃から地区と職員とのコミュニケーションを地区担当職員制度も活かしながら図っていたきたい。

**村長**  
住民の皆さんと職員が十分コミュニケーションを図るよう鋭意努力していきたい。

**鋭意努力する**

**川畑議員**  
地区との十分な意思疎通を

**地区との十分な意思疎通を**

を早く改善できないか。

を早く改善できないか。

を早く改善できないか。



山口捷夫議員

終わらない農作物被害

# サル被害に今まで以上の対策を

## 村長——関係市町村が連携し、国、県に働きかける

山口議員

今年度のサル対策にかかると総予算および事業内容は。

### 5事業

1671万円

村長

総予算は千六百七十一万円。

事業内容として、天然記念物食害対策事業費（電気柵）三百七十七万九千円、ニホンザル巡視員事業費二百五十万円、下北半島ニホンザル被害対策市町村連絡協議会事業費四百十九万二千円、巡視員の賃金と追いつ払い用の花火購入費等に要する事業費三百九十万円、ニホンザル保護管理専門員及びモンキードッグハンドラー人材育成事業費二百三十四万円である。

モンキードッグの導入は

山口議員

モンキードッグは効果があると言われているが、村として導入は考えているか。

考えていない

村長

ハンドラーの育成や維持管理に相当な財政負担が見込まれるため、現時点で村単独での導入は考えていない。

巡視員の活動は

山口議員

サル巡視員の活動内容及び活動状況は。

サルの監視と

出没状況確認

村長

牛滝地区から原田地区ま

で五班体制で、農作物に被害を与えるサルの群れを確認し、速やかに耕作者へ周知し被害防止に努めている。

山口議員

地域からは、巡視員の活動に對しさまざまな意見や苦情が寄せられており、村ではその都度、巡視員と協議しながら対応している。

現在の捕獲頭数で

対応できるか

山口議員

下北半島全体で約二千頭のサルが生息しているといわれているが、このうち五分の一のサルが産するとすれば、四百頭のサルが毎年増えることになる。

捕獲が認められているのは二百七十頭だが、これでは対応できないのではないか。

適正頭数や群れの捕獲を提言する

村長

当村では七十九頭の捕獲許可に對し二十七頭を捕獲、駆除している。

平成二十三年度において第三次特定鳥獣保護管理計画が策定されることから、適正頭数や群れ捕獲を提言し、計画に盛り込むよう働きかける。

捕獲方法は

山口議員

現在の捕獲方法とその対応については。

箱わなで捕獲

産業建設課長

捕獲方法は箱わなで、役場職員が対応している。

79頭全部捕獲してほしい

山口議員

七十九頭の捕獲許可に對し二十七頭の捕獲実績になっている。巡視員にも協力してもらい、できれば七十九頭全部捕獲し駆除してもらいたい。

割当分は全部捕獲したい

産業建設課長

今年度職員三人と専門員一人が箱わなの資格を取得したので、四人体制で許可された七十九頭全部を捕獲したいと考えている。



現在は群れでの捕獲は認められていない

8月 15 ~16日の集中豪雨

# 2次被害防止へ早急な対応を

## 村長——地権者へ理解求め、県へ強く要望する



災害現場視察には県土整備部長も同行した

山口議員

八月十五日から十六日の大雨による被害により、六兵衛沢、金掘沢の側溝が土砂で埋まり、側溝の役割を果たしていない状況である。二次被害が起きる前に早急に対応できないか。

村単独事業として実施する

村長

村の単独事業として土砂除去を実施し、早急に水が流れる施策を講じたい。

堰堤が必要ではないか

山口議員

更なる災害を防ぐために、六兵衛沢の上流に堰堤を造れば良いと考えるが。

県・森林管理署へ要望する

村長

担当である県土整備部だけでなく、これからは森林管理署にも同様に堰堤工事の必要性を強く要望していく。

松子沢の早急な側溝整備を

山口議員

松子沢には側溝がなく、大雨になれば道路の冠水、民家への浸水、民有林への土砂の流出と被害が出ているため早急な側溝整備が必要と考えるが。

県に要望した

村長

県に対し、砂防堰堤から古佐井川までの側溝整備計画を要望した。県では現地調査も行っている。

焼山沢の護岸整備は

山口議員

古佐井川上流（焼山沢）は以前、砂防整備事業として整備していたが途中で中止となっている。このことにより大雨による民有地への被害が出ている。住民の財産を守るためにも護岸整備を県へ要望してもらいたい。

今後も要望していく

村長

県では新たに整備計画を検討し、何度も現地調査をしていることから、村では地権者へも理解を求めながら、今後も力強く要望していく。



頻繁に被害が発生する災害現場

追跡質問

# 11月19日佐井支店撤退 対応を早めに周知すべき



撤退後の住民の混乱が予想される

竹内議員

六月定例会の青い森信用金庫佐井支店撤退に伴う公金の納付者への利便性をどう考えるのかという質問に対して、どのような対応をしているのか。

渉外担当者の  
派遣を要請中

参事・総務課長

佐井支店の撤退が十一月十九日と決定した。このことによって地域住民に非常に不便をかけることとなる。特に高齢者にとっては

深刻な問題と受け止めており、青森銀行ならびに青い森信用金庫に対し、月に何回か渉外担当者を役場に派遣してもらおうよう、今現在要請している。また、うちよ銀行に対しても収納取扱機関として利用できるよう現在協議中である。

## 合併槽の申請時期は

追跡質問

田中議員

三月定例会で、下水道事業は平成二十二年で終了とのことだったが、それに伴い二十三年度からは合併槽の申請に入らと思うが、県への申請はいつになるのか。

県と協議中

産業建設課長

計画時期をいつにするか県と協議中である。

排水の悪臭への  
対応は

田中議員

下水道事業に関連して、



教員住宅でも始まった合併槽の設置

順序良く  
解決すべき

田中議員

住民型の行政ということを考えれば、身近なものは順序良く解決すべきでは。

実情を把握し  
対応したい

村長

各地区から同様の要望が出ている。要望は一日も早く解決したいが、地区に説明をしながら対応している状況である。

各地区から  
要望出ている

産業建設課長

各地区から同様の要望が出ている。要望は一日も早く解決したいが、地区に説明をしながら対応している状況である。

地域の現状を把握し、地域の皆さんの意識高揚も含め対応すべきと考えている。早い機会に改めて地域の実情を把握し、なおかつ合併槽への加入促進を図っていききたい。

### 追跡質問

## 下北交通磯谷線 地区との協議結果は

川畑議員

平成二十一年十二月定例会で、下北交通の佐井長後間バス路線の維持について、六月をめどに結論を出したいということだったがその後どうなったか。

### 現在協議中

参事・総務課長

長後・磯谷地区との協議が八月までずれ込み、その中で出た意見要望を現在事業者と協議中である。協議が整い次第、利用者への広報・周知を行ないたい。

各要望に対応できるか

川畑議員

祝祭日の運行の要望が出たことだが、そのほかにコミュニティバスの帰りの便の不便さもあったが、今の協議の中で対応できるのか。

事業者へ  
申し入れしている

参事・総務課長

それについても事業者には申し入れしている。

### 追跡質問

## 地域担当職員制度 取り組み状況は

山口議員

平成二十一年十二月定例会で追跡質問した外部ヒアリングの成果として、地域担当職員制度を実施することであったが、担当職員と地域住民との話し合いは行われたのか。

数ヶ所で  
1回のみ開催

参事・総務課長

残念ながら実施した地区は何ヶ所もなく、実施した地区でも一回のみの開催で終わっている。

早く取り組みむべき  
では

山口議員

組織を作った時点で地区担当職員が地域へ行き、組織の目的等を説明し取り組みべきだったのでは。

改めて職員・地区  
への理解求める

村長

もう一度改めて職員に対し制度の在り方を説明しながら、地区総代、行政連絡員の皆さんに理解してもらい真の村づくりのために鋭意努力していきたい。

## 高い評価を受けた議会だより

9月28日に青森市「県共同ビル大会議室」において、町村議会広報研修会が開催されました。広報編集委員全5名が参加し、これからの議会広報づくりについて学ぶことができました。広報コンサルタントの深沢徹氏の講義を受けた後、県内5町村の議会広報クリニックがおこなわれ、優れている点、検討・改善したい点についてわかりやすく説明していただきました。

当村議会だよりは、技術的にはかなり良い、全国的にももう少しで上位に食い込める力がある、さらに個性と魅力ある企画、紙面づくりに努力してほしいと高い評価を受けました。今後も住民の皆さんにわかりやすく愛される広報づくりに取り組んでいきます。

また、議会だよりの感想、議会への要望、ご意見等取り入れていきたいと思っておりますので、皆さんの声をお寄せください。

【住所】 〒039-4711  
佐井村大字佐井字糠森20 佐井村議会事務局  
【電話】 38-2111 (内線51、52)  
【FAX】 38-2492  
【Eメール】 si-gikai@sai.e-shimokita.jp

# ～未来への財産～ むらのこどもたち

佐井中学校①



## 1年生 中学校に入って頑張っていること 頑張りたいこと

**五十嵐秀平**

今頑張っていることは、部活の自主練に力を入れ、少しでも速く走れるようになりたい。

**長島雄大**

僕は勉強の内容が増えて、テストが難しくなってきたので、勉強を頑張っています。

**萬谷一駿**

部活を頑張っています。来年は、レギュラーになり、試合に出たいです。

**石塚迪崇**

僕は、部活を頑張っています。陸上の大会で好成績を残すために毎日走りこんでいます。

**浜村嵩翔**

僕が頑張っている事は部活です。リレーメンバーに選ばれるように頑張っています。

**鹿嶋芽恵**

私はあいさつを頑張りたいです。明るいあいさつを地域の方々ができるよう頑張ります。

**岩清水翔平**

僕がこれから頑張りたいことは、授業で積極的に発表することです。

**樋口圭介**

僕が頑張っていることは勉強です。毎日各教科の教科書を音読することを続けたいです。

**加藤愛里**

今私が頑張っていることは、県新人戦のメンバーに選ばれるように努力しています。

**内田裕崇**

僕は明るい学活をおくるために、元気のよいあいさつを心がけています。

**布施裕雅**

僕が頑張っている事は部活です。砲丸投で県ベスト8に入るように努力しています。

**田名部輝美**

私は洗濯物の取り込みや風呂そうじを頑張つて、少しでも家族の役に立とうと思います。

**木部勇二郎**

僕は、中学生になって野球を頑張っている。自主練をして試合で良い結果を出したい。

**松谷凌雅**

僕は中学生になってから、勉強や部活動などで積極的に行動する事を心がけています。

**佐藤真也**

僕がこれから頑張りたいことは、大会や行事で自分の役割や責任を果たしたいです。

**横浜駿貴**

頑張っていることは家に帰ってから週に2回走っている。絶対にレギュラーをとる。

# 2年生 私 の 好き な 佐井村

**池田 巧**

佐井村の自然が好きです。仏ヶ浦などの自然が豊かだからです。

**三戸 吉人**

佐井村の秋が好きです。秋の夜に出る月が林を照らすのがきれいだから。

**船越 淳基**

佐井村の人が子供の声に耳を向け大変な時間も笑顔でいる所が好きです。

**若山 京輔**

佐井村の祭りが好きです。佐井の祭りは三百年の歴史があるからです。

**館脇 早紀**

佐井村の好きな所は、祭りです。三百年以上も続いているからです。

**米澤 美月**

佐井村の人が好きです。理由は家族のよう

**伊藤 一真**

年に1度、佐井村の人達が協力しあつてつくる祭りが大好きです。

**田畑 孝大**

佐井村の人々が好きです。理由は、みんな優しく元気な所が好きです。

**宮川 樹**

佐井村の祭りが好きです。理由は三百年以上の歴史があるからです。

**岡本 唯**

佐井村の景色が好きです。海に見える夕日

**西谷 眞子**

私は佐井村の祭りが好きです。村民全員で騒いで楽しいからです。

**扇谷 有樹**

ぼくは佐井村のみなさんが好きです。理由は、皆優しいからです。

**中村 一陽**

佐井村の自然が好きで、理由は山から見る佐井の景色が好きだからです。

**宮川 友哉**

佐井村の好きな行事は祭りです。三百年も続く伝統を受け継ぎたいです。

**菊池 佳歩**

佐井村の人々が大好きです。声をかけてくれるのがうれしいです。

**東出 桃子**

私は佐井村の祭りが好きです。古くから続く祭りを私達で守りたいです。

**大畑 怜**

佐井村の祭りが好きです。みんな協力してやるところが好きです。

**中村 優樹**

佐井村の海の景色が好きです。理由は夕日が写るとききれいだからです。

**宮木 和也**

僕は山や海など佐井村の自然が豊かなところが好きです。

**熊谷 ほのか**

佐井村の秋が好きです。山の色が赤や黄色でとてもきれいです。

**福田 成美**

佐井村のアルサスが大好きです。コンサートがあるからです。

**奥本 翔**

佐井の水が好きです。理由は、葉を使っているから、新鮮です。

**福田 純哉**

僕は佐井村の自然が好きです。海や山の風景がきれいだからです。

**横浜 太生**

佐井村は静かな所で暖かい日は外でのんきに散歩：と思えるのが好きです。

**佐々木 千佳**

佐井の祭りが好きです。毎年みんなの協力

**宮木 美空**

村内の人達が好きです。いつでも優しくあ

**川畑 涼**

この村の海がとても好きで、春夏秋冬には、いつもつりを楽しんでいます。

**佐藤 朱華**

佐井村の好きな所は神楽です。迫力があつてかっこいいからです。

今回は、佐井中学校1年生、2年生の皆さんからそれぞれ答えてもらいました。

3年生は次号（平成23年2月1日発行）の議会だよりに掲載します。

# 原子力発電所先例地視察

【九州電力(株)玄海原子力発電所】

派遣議員代表:大間原子力発電所対策特別委員会 委員長 山口 捷夫

プルサーマルは、使用済み核燃料からプルトリウムを取り出し、ウランとの混合酸化物(MOX)燃料にして燃やす発電方式で二〇一五年度まで全国の発電所十六、十八基でプルサーマル導入を目指している。

電源開発(株)が建設中の大間原子力発電所は、MOX燃料を利用することになっており、すでに導入され三号機で通常運転がされている九州電力(株)玄海原子力発電所を六月二十二日先例地視察した。

今回は、玄海原子力発電所において原子力燃料の搬入作業が行われていることもあり、原子力発電所内の視察はできず、玄海エネルギーパークでの現況説明であった。

玄海原子力発電所の敷地面積は約八十七万㎡、これは東京ドームの約二倍の面積である。一号機から四号機までとなっており、三号機を対象に

プルサーマル計画を実施している。発電所に関わる作業員は通常の業務では千二百名から千三百名であるが、定期検査では通常より倍以上の約三千名近くになる。

また、現在の九州電力における発電割合は石油等・原子力がそれぞれ二十%、石炭十八%、水力十五%となっているが、社長の構想では、将来的にわたり良質な電気を安定的に供給していくため、原子力による電力量を五十%までもつていきたいと考えているとの説明であった。

○主な質問

Q 国内で最初のプルサーマル実施について、地元への理解を得るため特にならざるべき点に努力したか。

A 議会、各種団体、住民に対し、説明会を実施し理解に努めた。また、会社、県、国主催の公開討論会を三回開催し延べ千九百

八十人の出席があった。その他、講演、イベントの開催、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等への広告。

Q プルサーマルの実施対象プラントを増やす計画はあるか。

A 現在のところ、増やす予定はない。

Q 地元の河北新報の報道によれば、「玄海原発で使用するMOX燃料が将来不足する見込みである。」ということであるが、今後のMOX燃料の使用計画はどのようになっているか。

A 今月末で二回にわたる燃料輸送が終了する。同社ではイギリスにもプルトリウムを保有しており、まだ数年は使用できる。六ヶ所村再処理工場も予定では二〇一六年には稼働予定となっており、また、プルトリウムが不足すれば従来のウラン燃料には何ら影響はない。

Q むつ市で東京電力と日本原子力発電が使用済み燃料の中間貯蔵施設を計画しているが、九州電力でもそのような計画を検討しているか。

A この問題は九州電力だけでなく、どの電力会社にも言える。使用済み燃料は全体で千トン出るが、六ヶ所村に再処理工場が完成されると八百トン処理でき、残り二百トンが余ること

になる。何らかの形で取り組みは必要であり、どの電力会社も貯蔵施設を持つべきで検討課題である。

Q 県が課税する核燃料税の取り扱いについて、MOX燃料とウラン燃料では違いはあるのか。

A 特に違いはない。自治体によって課税か非課税かの違いはある。



玄海原子力発電所での現況説明の様子